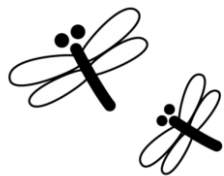


2020.08.27.Thursday

学修・教育開発センター（CRED）



## 授業についてのご報告

スタートアップセミナー自主自律のすべての回が終了いたしました。今年度の授業について改めて全体の振り返りをご報告いたします。

スタートアップセミナー自主自律は、「東京家政大学での4年間において、「愛情・勤勉・聡明」にもとづいた生活を創り営み、「自主自律」の生き方ができる人として成長するための基礎を築く科目」（シラバスより）です。多学科の混合クラスを構成し、協同学習を通じて、多様な価値観に触れ、東京家政大学生としての第一歩を踏み出すことを目標としています。

前期の授業を振り返ると、コロナ禍で授業の核となる「対面による協同学習」ができなくなり、どのように上記の目標を達成するのか運営側としても手探りの状態でスタートいたしました。

経験したことのない状況の中、何度も打ち合わせを重ねながらオンライン授業の授業計画案を作成してくださった先生方、授業担当の教員・SAの皆さまのご協力のおかげで、無事に全ての授業を終了することができました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

この経験を通じ2つの大きな発見がありました。

1つめはオンラインでの「協同学習」の可能性です。具体的には、事前・事後課題（授業外学修）の実施状

況が昨年度と比較して向上し、グループワークにおいてもそれぞれが自分の役割や責任を意識し、むしろ対面授業よりも積極的に発言が行われていた印象を受けました。協同学習は対面形式でなくても実施でき、またオンラインならではの、ある一定の効果を生むことができるというのは新たな気づきでした。

2つめは、（発見と言うより再発見ですが）SAの重要性です。新入生がキャンパスに入構できない状況下において、東京家政大学の先輩であるSAは、新入生の大きな支えになってくれました。また、授業のオンライン化に際し、いろいろな意見や提案という形で、授業を組み立てるうえで大きな貢献をしてくれました。

オンライン・対面という形式にとらわれることなく、今年度の知見を活かし、来年度以降もより質の高い授業にできるよう、授業改善を続けてまいります。引き続き、見守っていただければ幸いです。



学修・教育開発センター 矢野



## 教員・SA交流会を実施しました。

8月6日（木）に、授業終了後の意見交換を兼ねた教員とSAの交流会をGoogle Meet上で実施しました。

SA8名、教職員10名が参加し、SAの司会のもと、1時間半ほど実施されました。

交流会では、「学生たちが主体的に発言しやすい雰囲気を作るためにSAと教員はどのような手助けができるか」ということをテーマにグループごとに分かれてワークを行いました。

「なるべくカメラをオンにする」などオンライン

授業ならではの意見や、「独創賞などの賞を作り、学生のモチベーション向上につなげる」「この授業ではアイデアをだすところまでで終わっているのもったいない。2年以上に実際に自分たちが考えたことを実践するような授業を作ることはできないか。」などの意見が交わされました。

次年度以降に活かしていきたいと思えます。

## SAからのレポート

昨年度の履修者でもあるIさんに、SAとして前期全体を振り返っていただきました。



I.Nさん

家政学部  
造形表現学科 2年

昨年は履修者として、今年はSAとしてスタートアップセミナー自主自律に携ってきました。今年はオンライン形式での学習となり、教室の空気感や学生同士の一体感を感じることができず、1年生は戸惑うこともあったと思います。しかし、SAとして1年生のグループ学習の過程や最終的な発表を見聞きして、オンライン授業だからこそ得ることができた学習の成果があったと感じました。一人一人が自主的にグループ内での役割を務め、意識的にコミュニケーションを取るよう

私もオンライン形式のこの授業を通して、1年生や先生と密にコミュニケーションを取ることの大切さに気付くことができました。

第4回授業のSA発表では、改めて家政大学や自分について見つめる機会を持つことができ、また発表後1年生から多くの質問を頂いた時には、SAとして大きな役割の1つを達成することができたと感じました。SAとしての勤務経験は、昨年とは異なった角度からもう一度この授業を体験することができた素晴らしい機会になったと思います。

## 授業の感想を紹介します

これまでの学修の振り返りと今後の目標を記載した最終課題のレポートから、いくつかのコメントを紹介します。

- この授業を通して、他者との関わりの大切さというものを実感した。自分一人だと、固定概念にとらわれてしまって考えが偏ってしまったり、気づくことができないようなことでも、他者も交えて話し合いや議論を行うことで新たな視点からの意見もでてきて自分の成長にも繋がる。自分の成長のためにも、他者からの意見というものを参考にし視野を広げていきたいと考える。
- 卒業するまでに様々な人と関わって、新たな価値観、人生観などを獲得したいと思いました。私は、この授業で「人と協同をするためにはどうしたらいいか」を学び実践してきたため、これから先、ボランティアや実習、授業など様々なところで様々な立場の人と話し合う機会があると思いますが、そこでコミュニケーション力を高めまた協同をして問題解決に向かっていけるようにしていきたいです。
- 自分をしっかり持っている女性になりたいです。大学生活で様々なことを経験して、社会に出た時にその経験を生かして、自分の考え、価値観をぶれずに持っていられる人になりたいです。また社会問題について自分の考えを根拠をしっかりと述べて伝えられるようになっていきたいです。そのためにいまからたくさんの方に挑戦したり、社会問題について調べ、自分なりに考えをまとめたりしていきたいです。
- 前期のスタートアップセミナーを通し、グループワークを行う際の“積極的な発言”が持つ重要性に改めて気づいた。私自身、もともと先陣を切って発言することが得意ではない。しかし、授業内外でグループワークに取り組んでいくにつれ、“自発的な発言”に対して怖気づく気持ちが少し改善できたように思う。私はこの“積極性”をもっと伸ばしていきたい。一年生のうちに“積極的な”発言力を身に着けることで、今回のようなプレゼン制作でも活かせる能力が増えるのではないだろうか。